

【記載例】

開始事件 事件番号 平成28年(家)第8****号 【本人氏名： 後見太郎】

財産目録 (平成30年1月31日現在)

平成 30年 2月 5日 作成者氏名 後見次郎 印

本人の財産の内容は以下のとおりです。

1 預貯金・現金

金融機関の名称	支店名	口座種別	口座番号	残高(円)	管理者
〇〇銀行	××支店	普通	2345678	3,034,900	後見人
●●銀行	■支店	定期	8765432	300,000	後見人
●●信託銀行		後見信託	1122333	10,000,000	後見人
現金				52,147	後見人
合計				13,387,047	
前回との差額				1,379,022	(増減)

(2から7までの各項目についての記載方法)

- ・初回報告の場合→すべて右の□をチェックし、別紙も作成してください。
 - ・定期報告の場合→財産の内容に変化がない場合→左の□にチェックしてください。該当財産がない場合には、()内の□にもチェックしてください。
- 財産の内容に変化がある場合→右の□にチェックした上、前回までに報告したのものも含め、該当する項目の現在の財産内容すべてを別紙にお書きください。

2 有価証券(株式、投資信託、国債など)

- 前回報告から変わりありません(□該当財産なし) □ 前回報告から変わりました(別紙のとおり)

3 不動産(土地)

- 前回報告から変わりありません(□該当財産なし) ■ 前回報告から変わりました(別紙のとおり)

4 不動産(建物)

- 前回報告から変わりありません(□該当財産なし) □ 前回報告から変わりました(別紙のとおり)

5 保険契約(本人が契約者又は受取人になっているもの)

- 前回報告から変わりありません(□該当財産なし) ■ 前回報告から変わりました(別紙のとおり)

6 その他の資産(貸金債権、出資金など)

- 前回報告から変わりありません(■該当財産なし) □ 前回報告から変わりました(別紙のとおり)

7 負債(立替金など)

- 前回報告から変わりありません(□該当財産なし) ■ 前回報告から変わりました(別紙のとおり)

【記載例】

(別紙)

2 有価証券（株式、投資信託、国債など）

種 類	銘柄等	数量（口数、株数、額面等）	評価額（円）
合 計			

3 不動産（土地）

所 在	地 番	地 目	地積（㎡）	備 考
●●区●●町●丁目	〇〇〇番2	宅地	123.24	

4 不動産（建物）

所 在	家屋番号	種 類	床面積（㎡）	備 考

5 保険契約（本人が契約者又は受取人になっているもの）

保険会社の名称	保険の種類	証書番号	保険金額（受取額）（円）	受取人
■■生命	がん保険	*****	1,000,000	本人

6 その他の資産（貸金債権、出資金など）

種 類	債務者等	数量（債権額、額面等）

7 負債（立替金など）

債権者名（支払先）	負債の内容	残額（円）	返済月額・清算予定
なし			
合 計			